

問1 日本国憲法第41条において、国会は「国権の最高機関」と規定されています。このように国会が位置づけられている理由を、民主主義の仕組みの観点から説明したものと、最も適切なものはどれか。(2018年 鹿児島県公立入試 類似)

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 1. 主権者である国民が、直接選挙によって選んだ議員によって国会が構成されているため。 | 2. 国会が国の法律を制定することができる唯一の立法機関という特権を持っているため。 | 3. 三権分立の仕組みにおいて、内閣や裁判所に対して国会が常に優越的な命令を下せるため。 | 4. 内閣総理大臣を国会議員の中から指名し、行政の執行権を実質的に支配しているため。 |
|---|--|--|--|

問2 予算の議決において、衆議院では賛成多数で可決されたものの、参議院で反対多数により否決された状況を想定します。このとき、両院協議会を開いても意見が一致しなかった場合、その後どのような手続きを経て意思決定がなされますか。(2026年 山形公立入試 類似)

- |                             |                                |                           |  |
|-----------------------------|--------------------------------|---------------------------|--|
| 1. 衆議院の議決が国会の議決となり、予算が成立する。 | 2. 内閣総理大臣が裁定を下し、その判断が国会の意思となる。 | 3. 参議院の議決が優先され、予算案は廃案となる。 | 4. 再度、衆議院において出席議員の3分の2以上の賛成で可決すれば成立する。 |
|-----------------------------|--------------------------------|---------------------------|--|

問3 内閣が外国と結ぶ条約に関して、国会が「承認」の権限を持つ理由として、三権分立の観点から最も適切な説明はどれですか。(2020年 香川公立入試 類似)

- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1. 内閣による外交権の行使に対し、立法府である国会が関与することで、行政の独走を抑制するため。 | 2. 国会が条約の草案をすべて作成し、内閣はその手続きのみを代行する関係にあるため。 | 3. 最高裁判所が条約の違憲審査を行う前に、国会が予備的な調査を完了させる必要があるため。 | 4. 条約は法律よりも優先されるため、内閣ではなく国会が締結の主体とならなければならないため。 |
|--|--|---|---|

問4 内閣総理大臣が任命し、内閣の構成員として行政の各部門を分担管理する役職の名称として正しいものを選びなさい。(2017年 鳥取公立入試 類似)

- |         |            |         |             |
|---------|------------|---------|-------------|
| 1. 国務大臣 | 2. 内閣官房参事官 | 3. 事務次官 | 4. 最高裁判所裁判官 |
|---------|------------|---------|-------------|

問5 日本の裁判制度において、一つの事件について裁判を三回まで受けることができる「三審制」が採用されている最大の目的として、最も適切なものはどれですか。(2016年 山形県公立入試 類似)

- |                              |                                 |                                 |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 裁判を慎重に行い、誤判を防いで国民の人権を守るため | 2. 行政権が司法権に介入するのを防ぎ、三権分立を徹底するため | 3. 裁判にかかる費用を節約し、国民の経済的な負担を減らすため | 4. 裁判官の人数を増やし、判決が出るまでの期間を短縮するため |
|------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

問6 日本の司法制度において、裁判所が他の国家機関から干渉を受けずに公正な判断を下せるよう「司法権の独立」が保障されています。この制度が確立されている理由として、最も適切な背景を説明したものを選びなさい。(2026年 福岡公立入試 類似)

- |   |  |   |                                       |
|---|--|---|---------------------------------------|
| 1. 政治的な圧力に左右されず、法に基づいた公正な裁判を行うことで国民の基本的な人権を守るため | 2. 裁判所が国会や内閣よりも優位に立ち、すべての行政処分を可否をあらかじめ決定するため | 3. 裁判の効率を高めるために、判決の内容について外部からの異議申し立てを一切禁止するため | 4. 裁判官がその時々世論の動向に完全に従って、多数決による解決を図るため |
|---|--|---|---------------------------------------|

問7 日本の政治制度において、内閣を構成する内閣総理大臣と国務大臣が、行政権の行使について国会に対して負っている関係性を説明したものと、最も適切なものはどれですか。(2020年 群馬県公立入試 類似)

- |                                  |                                  |                                   |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 内閣は、行政権の行使について国会に対し連帯して責任を負う。 | 2. 内閣は、国会から完全に独立しており、一切の責任を負わない。 | 3. 内閣総理大臣のみが責任を負い、他の国務大臣は責任を負わない。 | 4. 内閣は、裁判所に対してのみ行政権の行使に関する責任を負う。 |
|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|

問8 日本の政治機構において、行政権の行使を担う内閣と、そのもとで実務を行う行政組織の関係について説明した文として、最も適切なものはどれですか。(2023年 滋賀公立入試 類似)

- |  |   |                                     |                                       |
|--|---|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 各大臣が各省の長として行政事務を分担し、公務員を指揮・監督して政策を執行する。 | 2. 行政事務はすべて内閣総理大臣が一人で管理し、各大臣は閣議での助言のみを行う。 | 3. 公務員は内閣の指揮・監督を受け、独自の判断で行政事務を執行する。 | 4. 各大臣は国会における法案審議のみを担当し、省庁の事務には関与しない。 |
|--|---|-------------------------------------|---------------------------------------|

問9 日本の二院制において、参議院が「良識の府」として期待されている役割について、その背景を含めた説明として正しいものはどれですか。(2018年 和歌山公立入試 類似)

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 1. 衆議院よりも任期が長く解散がないため、短期的な世論に左右されず、長期的な視点から衆議院の行きすぎをおさえる役割 | 2. 予算の先議権を持つことで、衆議院が決定した国の予算案を白紙に戻し、最初から審議をやり直させる役割 | 3. 内閣不信任の決議権を衆議院と共有することで、行政に対する監視機能を衆議院よりも強力に行使する役割 | 4. 衆議院の優越をすべての議案において無効化し、両院の意見が一致するまで審議を無期限に継続させる役割 |
|--|---|---|---|

問10 日本国憲法が定める司法に対する国民の参加のうち、最高裁判所の裁判官がその職務にふさわしいかどうかを、衆議院議員総選挙の際に国民が直接投票によってチェックする制度を何というか、正しい名称を選択してください。(2023年 石川公立入試 類似)

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国民審査 | 2. 国民投票 | 3. 弾劾裁判 | 4. 住民投票 |
|---------|---------|---------|---------|

問11 委員会制度の一環として、予算案や重要な法律案を審査する際に、専門家や利害関係者などの外部から意見を聴くために設けられる場を何といいますか。(2024年 滋賀公立入試 類似)

- |        |          |         |        |
|--------|----------|---------|--------|
| 1. 公聴会 | 2. 憲法審査会 | 3. 党首討論 | 4. 本会議 |
|--------|----------|---------|--------|

問12 予算の議決において、衆議院と参議院で異なった議決がなされた際のプロセスについて、法律案の議決と異なる点はどこですか。(2016年 岐阜公立入試 類似)

- |  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 1. 参議院が否決した場合でも、衆議院で再議決を行う必要はなく、衆議院の議決がそのまま国会の議決となる。 | 2. 衆議院と参議院の議決が一致しない場合、必ず両院協議会を開催しなければならない。 | 3. 予算案については衆議院の優越が認められていないため、両院の意見が一致するまで審議を続けなければならない。 | 4. 参議院が予算を受け取ってから30日以内に議決しない場合は、自動的に廃案となる。 |
|--|--|---|--|

問13 国会の仕組みにおいて、衆議院が参議院よりも国民の意思を反映しやすいと判断される根拠となる、衆議院の「任期」と「解散」に関する説明の組み合わせとして正しいものを選びなさい。(2018年 熊本県公立入試 類似)

- |                                    |  |                                     |                                     |
|------------------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 任期は4年であり、任期が終わる前でも解散が行われることがある。 | 2. 任期は6年であり、3年ごとに議員の半数が入れ替わるよう解散が行われる。 | 3. 任期は4年であり、参議院と同時にのみ解散が行われるルールがある。 | 4. 任期は6年であり、内閣総理大臣の判断によってのみ解散が行われる。 |
|------------------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 主権者である国民が、直接選挙によって選んだ議員によって国会が構成されているため。	日本国憲法は国民主権を基本原則としています。国会が「最高機関」とされるのは、主権者である国民の意思を直接反映する「国民の代表機関」としての性格を最も強く持っているためです。これは他の行政権（内閣）や司法権（裁判所）との比較において、民主主義的な正当性が最も直接的であることを意味しています。単に法律を作る機関であることや、内閣総理大臣の指名権を持つことだけが「最高機関」の根拠ではありません。
問2	答え 1 衆議院の議決が国会の議決となり、予算が成立する。	予算の議決や条約の承認、内閣総理大臣の指名については、衆議院の優越が認められています。そのため、両院協議会を開催しても意見が一致しない場合や、参議院が予算を受け取ってから30日以内に議決しない場合は、衆議院の判断が国会全体の意思決定として扱われます。
問3	答え 1 内閣による外交権の行使に対し、立法府である国会が関与することで、行政の独走を抑制するため。	日本の政治制度では、権力の集中を防ぐために三権が互いに抑制し合う仕組みがとられています。条約の締結権は内閣にあります。それを国会が承認するというプロセスを経ることで、行政運営に対する立法府の監視・抑制機能が働いています。これにより、国民の意思を反映した外交が行われることが担保されています。
問4	答え 1 内閣総理大臣 国務大臣	内閣は内閣総理大臣と国務大臣によって構成される合議制の機関です。政治機構図においては、内閣総理大臣の下に複数のメンバーが位置づけられており、内閣総理大臣による任命と罷免（ひめん）の関係によって結ばれています。国務大臣は各省の長として行政実務を指揮したり、内閣の一員として国会に対し連帯して責任を負ったりする役割を担います。
問5	答え 1 裁判を慎重に行い、誤判を防いで国民の人権を守るため	裁判官も人間である以上、常に正しい判断を下せるとは限りません。誤った判決（誤判）によって無実の人が罰せられるような事態を防ぎ、国民の人権を確実に保障するために、上級の裁判所に繰り返し審理を求めることができる仕組みが整えられています。
問6	答え 1 政治的な圧力に左右されず、法に基づいた公正な裁判を行うことで国民の基本的な人権を守るため	司法権が内閣（行政）や国会（立法）の影響を強く受けると、時の権力にとって都合の良い判決が下される危険性があります。そのため、裁判所を独立させ、裁判官が自身の良心と憲法・法律のみに拘束される状況を作ること、個人の権利が不当に侵害されない公正な社会を維持しています。
問7	答え 1 内閣は、行政権の行使について国会に対し連帯して責任を負う。	日本の議院内閣制では、内閣は国会の信任に基づいて成立しており、内閣総理大臣と国務大臣は連帯して国会に対し責任を負います。国務大臣の過半数が国会議員から選ばれる仕組みも、内閣と国会間の意思疎通や信頼関係を強化し、この連帯責任を実効的なものにするための背景があります。
問8	答え 1 各大臣が各省の長として行政事務を分担し、公務員を指揮・監督して政策を執行する。	内閣制度では、内閣を構成する国務大臣がそれぞれ特定の行政分野（省庁）を受け持ち、その責任者として公務員を動かして政策を実現します。これは「分担管理」と呼ばれ、民主的に選ばれた国会議員などが大臣として行政実務を統括することで、行政に国民の意思を反映させる意義があります。他の選択肢にあるような、総理一人の独占的な管理や、公務員の完全な独立、大臣の事務への不介入などは、日本の行政制度の仕組みとは異なります。
問9	答え 1 衆議院よりも任期が長く解散がないため、短期的な世論に左右されず、長期的な視点から衆議院の行きすぎをおさえる役割	参議院は任期が6年と長く、衆議院のような解散もありません。この制度上の違いにより、その時々々の勢いや一時的な世論の変化に流されすぎることなく、別の角度から議案を検討することができます。これにより、衆議院の判断に対して慎重な審議を行い、行きすぎを抑制する機能が期待されています。
問10	答え 1 国民審査	司法権の独立を尊重しつつも、主権者である国民が最高裁判所の裁判官を直接チェックすることで、民主的なコントロールを及ぼす仕組みです。衆議院議員総選挙と同時に行為、不適任と考える裁判官に×印をつける方式がとられています。国会に設置される「弾劾裁判」や、憲法改正の際に行われる「国民投票」と混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 1 公聴会	委員会での審議をより多角的な視点で行うために、議員以外の学識経験者や関係者（公述人）を招いて意見を聴く仕組みです。特に予算や国民生活に重大な影響を及ぼす案件では、この場を設けることが義務付けられたり、慣例として行われたりします。
問12	答え 2 衆議院と参議院の議決が一致しない場合、必ず両院協議会を開催しなければならない。	法律案の再議決は「任意（開かなくてもよい）」であるのに対し、予算の議決、条約の承認、内閣総理大臣の指名の3つについては、両院の議決が一致しない場合に「必ず」両院協議会を開かなければなりません。それでも意見が一致しない場合には、衆議院の議決が国会の議決となります。また、参議院が予算を受け取ってから30日以内に議決しない場合も、衆議院の議決が国会の議決（自然成立）となります。
問13	答え 1 任期は4年であり、任期が終わる前でも解散が行われることがある。	衆議院の任期は4年と定められていますが、内閣による解散が行われると、任期満了を待たずに全員が失職して総選挙が行われます。これに対し、参議院は任期が6年で解散がありません。この「任期の短さ」と「解散の存在」という制度上の特徴が、衆議院に優越的な権限を与える民主的な根拠となっています。